

## 平成30年度決算に係る事務事業に対する提言

番号	事務事業名	所管常任 委員会	今後の方向性	事務事業に対する提言
1	行政情報発信事業	総務文教	一部見直しのうえ 継続すべき	<p>「ひろおく便り」の視聴率は向上しており、一定の宣伝効果は出ているものとする。番組の放送時間等を市民に周知徹底したり、過去の放送をホームページ上で見ることができるよう工夫したりすることで、さらなる視聴率の向上に期待する。</p> <p>内容充実のために、アピールするポイントを明確にし、制作会社に情報・意図を的確に伝えること。また、広報担当以外の職員においても、市内の情報についてアンテナを張り巡らせ、入手した情報のPR方法を常に意識されたい。</p>
2	市内企業と地方移住希望者のマッチング事業	総務文教	抜本的（事務事業の統廃合等）な見直しのうえ継続	<p>集客数や参加者数といった数値目標の達成が移住促進という目的にどの程度寄与しているのか見えづらく、目標設定の妥当性に疑問が残る。関係人口の増加を計る指標を工夫し、事業が目的達成に向け前進していることを説明できる必要がある。</p> <p>前提として、補助金ありきの事業となっていないか、本当に必要な事業なのかということについても再度検討・整理されたい。</p>
3	移住・定住スタディツアー事業	総務文教	抜本的（事務事業の統廃合等）な見直しのうえ継続	<p>前提として、補助金ありきの事業となっていないか、本当に必要な事業なのかということについても再度検討・整理されたい。</p>

## 平成30年度決算に係る事務事業に対する提言

番号	事務事業名	所管常任 委員会	今後の方向性	事務事業に対する提言
4	「英語力」リノベーション事業	総務文教	現状のまま継続すべき	<p>児童・生徒及び保護者並びに市民に対して、大学・高校入試まで見据えた事業としての実施意義の周知徹底を図られたい。</p> <p>また、受験率100%を目指して、より多くの子どもたちが受験にチャレンジする意欲を持てるような施策を工夫されたい。</p>
5	家庭教育支援事業	総務文教	一部見直しのうえ継続すべき	<p>「放課後の子どもの居場所づくり」の観点から、放課後児童クラブ等やコミュニティ・スクールも含めて、事業のあり方を再構築されたい。</p> <p>また、放課後子ども教室の指導員確保及び親プロのファシリテーター養成・確保について、更なる予算措置も検討の上、重点的に取り組まれたい。</p>
6	子ども・子育て支援事業計画	厚生	一部見直しのうえ継続すべき	<p>計画策定にあたっては、アンケート調査から見えてくるニーズに応え、地域特性を活かした事業の構築となるよう、他分野（産業・まちづくり・教育等）との横断的連携を十分図られたい。</p>
7	三玉プロジェクト	厚生	抜本的な見直しのうえ継続	<p>改修に当たっては一定程度の制約はあるものの、建物を既已取得した状況もあり、最大限有効活用できるよう、寄附者の意向も汲み、抜本的見直しのうえ、費用対効果のある事業としていただきたい。</p> <p>また、目的からずれないように進めていただきたい。</p>

## 平成30年度決算に係る事務事業に対する提言

番号	事務事業名	所管常任 委員会	今後の方向性	事務事業に対する提言
8	地域づくり活動事業	厚生	一部見直しのうえ 継続すべき	<p>社会福祉協議会への補助金事業であるが、現状では事業効果が上がっているのか、目標が達成できているかが見えてこないの、見えるような形をとっていただきたい。</p> <p>社会福祉協議会と常時連携をとりながら、今必要とされている福祉ニーズを速やかに受け取れる体制をとり、地域福祉の推進を図られたい。</p>
9	医療体制確保事業	厚生	一部見直しのうえ 継続すべき	<p>医師の育成、新規医療機関開設等の増加をさらに推進すること。あらゆる方策を使って医療提供体制の整備に努められたい。</p>
10	湯が丘病院基本構想 策定事業	厚生	一部見直しのうえ 継続すべき	<p>医師や看護師の確保が困難な状況ではあるが、労働条件の改善をする等、努力を継続していただきたい。</p> <p>老朽化した施設についても、時間的猶予がない中、今後どうしていくのか、更なるスケジュール管理を行いながら、早急に検討委員会を設置し、より具体的な施策の決定に努められたい。</p>
11	市営住宅の適切なストックマネジメント	建設	一部見直しのうえ 継続すべき	<p>50年以上経過した老朽住宅が増加し、解体及び長寿命化の改修工事を進めるため、生活基本計画で市営住宅の方向性を明確にし、府中市営住宅長寿命化計画などによる判断基準に基づいて優先順位を付け、事業を実施するなど、民間活用も含めて、適切なストックマネジメントに務められたい。</p>

## 平成30年度決算に係る事務事業に対する提言

番号	事務事業名	所管常任委員会	今後の方向性	事務事業に対する提言
12	就職・U I ターン促進支援事業	建設	一部見直しのうえ継続すべき	<p>SNSなど情報発信の新規性を取り入れ、高校生・大学生・U I ターン者を引き付けるよう、府中市の魅力発信を強化すると共に、福山地方以外の地域で、市内企業の紹介や就職説明会を開催するなど、積極的な取り組みに務められたい。</p> <p>取り組みの追跡調査等を実施してニーズを把握し、ニーズにあった取り組みへの転換も検討されたい。</p>
13	NEKIを拠点とした首都圏戦略	建設	一部見直しのうえ継続すべき	<p>物販部門について、収益の安定的な黒字化や府中市の特産品を広めるため、近隣市町と連携して備後圏の特産品の販売を増やされたい。</p> <p>その際は、掛け率など差別化を検討されたい。</p> <p>飲食部門に力を入れ、採算がとれるようコストの見直しを行い、食材については、府中市内からの購入を増やされたい。</p> <p>以上のことについて、事業主体である府中商工会議所と緊密な連携を図られたい。</p>
14	上下地域の観光振興事業	建設	一部見直しのうえ継続すべき	<p>角倉邸と翁座の改修など、今後は行政として補助するには限界があり、PFI等民間活力を利用するよう検討されたい。</p> <p>上下地域の観光施設を活かすため、他にない企画で、お得感のあるイベントを展開し、稼ぐ事業にするため組織の充実を図られたい。</p>
15	農業関連地方創生事業	建設	現状のまま継続すべき	<p>新規就農のための人材育成とハード面の整備補助など、限られた予算の中で成功事例を作るべく資源を集中し、更には、農業所得向上のため6次産業化の推進に取り組まれたり。また、農業従事者が安心して経営できるよう鳥獣対策にも取り組まれたり。</p>